

平成30年度 事業報告

社会福祉法人 浄蓮福社会

植木保育園

法人本部区分

(1) 理事会開催実績

開催日	決 済 事 項
平成30年6月9日	1. 平成29年度事業報告 2. 平成29年度決算報告
平成30年11月25日	1. 指導監査報告について 2. 大型工事予定・固定資産物品の購入予定について 3. 各規定の整備について 4. 来年度の人事について
平成31年1月26日	1. 平成30年度補正予算について 2. 植木保育園の大型工事について 3. 植木保育園の固定資産物品の購入について
平成31年3月16日	1. 平成31年度期首予算について 2. 平成31年度事業計画（人事異動）について

(2) 評議員会開催実績

平成30年6月24日	1. 計算書類の承認について 2. 理事報酬・監事報酬の額について 3. 社会福祉充実計画の状況について
------------	--

(3) 監事監査実績（平成30年度事業に係る）

令和元年6月1日	・ 理事の業務執行状況 適切に執行されており、特に指摘すべき事項はありません。
----------	--

(4) 指導監査の結果（平成29年度事業に係る。）

平成30年8月28日	・ 保育所（福岡県監査）
------------	--------------

(1) 施設運営

非常勤職員に対して、労働条件等を明示した雇入通知書等の文書の交付が確認できない事例が1件ありました。労働者を雇い入れたときは、速やかに、労働時間その他の労働条件に関する事項を明らかにした文書を交付するようにしてください。

平成30年4月1日時点において未提出の変更届けがあるので早急に提出してください。

職員の雇入れ時健康診断の項目が網羅されていない方がいました。労働安全衛生規則（第43条）に規定する全項目について、雇入れ時の健康診断を実施してください。

就業規則と育児・介護休業規定に相違があります。また、育児・介護休業規定が法改正に対応していないため、再整備してください。

(2) 児童処遇 特になし

(3) 会計 特になし

施設区分

(1) 職員配置

職員数 31名

園長1 主任保育士1 保育士22 (内8名は非常勤) 栄養士1

調理員3 (内1名非常勤) 事務員1 その他3名

(2) 入所児童数

直方市 (北九州市・宮若市・鞍手町)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
平成30年	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
4月1日	7名	18名	21名	22名	22名	22名	112名
5月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	20名	21名	22名	22名	110名
6月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	21名	22名	22名	111名
7月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	21名	22名	22名	111名
8月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	21名	22名	22名	111名
9月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	21名	22名	22名	111名
10月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	21名	22名	22名	111名
11月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	21名	22名	22名	111名
12月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	20名	22名	22名	110名
平成31年	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
1月1日	7名	18名	21名	20名	22名	22名	110名
2月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	20名	22名	22名	110名
3月1日	(1)	(3)	()	()	()	(3)	(7)
	7名	18名	21名	20名	22名	22名	110名
計	(12)	(36)	()	()	()	(36)	(84)
	84名	216名	251名	249名	264名	264名	1328名

()内は他の市町村からの受け入れ児童数

(3) 補助金等

30年度 補助金

延長保育事業	300,000円
障がい児保育事業	459,200円

(4) 施設及び設備の整備実績

(器具備品等)

・災害時仮設テント	162,000円
-----------	----------

(ソフトウェア)

・メールコール初期設備費用	756,000円
---------------	----------

(構築物)

・ガレージ倉庫取替	1,303,295円
・園舎北側土間コンクリート工事	988,200円
・園舎竪樋取替工事	345,600円

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

・職員会議	月1回	園内研修	年齢別に月1回
・県内研修			
・キャリアアップ研修			
・福岡県保育協会研修会		保健衛生・安全対策、統合保育、保育指針、乳児研修、食育・アレルギー、幼児、障がい児保育等	
・筑豊地区研修会		保育士、給食等参加	
・直方市保育協会研修会		各部会研修等参加	
・直方市・直鞍地区等人権研修会		各講座や研修等参加	
・県外研修			
・キャリアアップ研修(大阪) マネジメント研修			
・全国保育士会研究大会(大分)		園長参加	

(6) 苦情等解決機関の設置と実績

意見・要望等受付担当者	主任保育士	瀧井	いずみ
意見・要望等の相談解決責任者	園長	池田	勇
第三者委員		栗山	一
第三者委員		宇野	紀子

・平成30年度の実績 平成30年度は第三者委員への意見や要望等はなかった。

平成30年度植木保育園保育事業報告

● 保育理念

社会福祉法人浄蓮福祉会の運営する植木保育園は児童福祉法に基づき「保育に欠ける」乳幼児の心身の発達を助長し養護と教育が一体となって豊かな人間性を健やかに育成する。

保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し児童の最善の利益のために家庭や地域社会と連携を図り、保育所の協力のもと家庭援助を行うとともに児童の福祉を積極的に増進するように努め、子育て支援に貢献する。

● 保育目標

- ・ 乳幼児の発達の筋道を正しくとらえ、情緒豊かな素直で明るい健康な子どもを育てる。
- ・ 恵まれた自然環境を活用し、心身の調和的な発達を図り、集団生活の中で情緒を安定させる。
 1. 体育遊びを積極的に取り入れ、心と身体をたくましくする。
 2. ひとりひとりを大切にし、こころ豊かな思いやりを育てる。
 3. 健康安全など日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。
 4. 人の話を良く聴き、自分の考えを正しく伝えられる力を身につける
 - 5 表現活動を通じて創造力を養う。

● 一年の反省

1. 平成30年度は事故（怪我）の件数は37件であった。この内、治療に30日を要する事故は0件だった。園庭や園外での散歩時にすり傷などが多く、園外での子どもの事故（怪我）を防ぐ工夫が必要である。
2. 県や市の保育協会の研修への参加をし、特に園内研修の充実を図り、職員間の連携を密にして資質の向上を目指したい。
3. 今年も骨折や交通事故などなく、無事1年を終えることができた。夏季は猛暑だったため、熱中症予防には格段の対策を行った。どんな事態になっても対応できるように日頃から訓練を積み、職員全員が対応を熟知しておく必要がある。
4. 働きやすい職場を目指して、休みがとりやすいように調整を行った。国による保育士等の処遇改善政策もあり、賃金面も改善された。今後もより働きやすい職場を目指して努力したい。

現状と課題

1. 事業方針について

① 入所児童について

年度当初から定員数で、年度途中から数名の増減があったが、順調であった。

② 特別保育事業

乳児保育

事業目的：乳児を受け入れ保護者が安心して働き続けるためと子どもの発達保証を目的とする。

延長保育 通常保育時間（1 1時間）を超えて実施する保育時間

事業目的：保護者の就労時間形態の変化に伴い、保育時間を1時間延長し対応する。

2.研修会について

創造保育研究会の実技研修、（各年齢別に園内研修を実施する。）さらに保育園団体が主催する研修会・福岡県保育協会主催の研修にも参加する。又直方市保育協会の会員となり直方市保育協会が主催する研修に参加し自己研鑽している。

3.安全管理について

消火訓練.避難訓練は毎月1回実施し.水害.地震.不審者防犯訓練等も年1回実施している。また、防災計画を作成し、これに沿った安全管理、防災に心がけている。園児に対して防災のお話をしている。子どもたちも関心をもって聞いている

4.健康管理について

園児は定期的に年2回の内科健診,歯科検診を行っている。また、尿検査も年2回行った。

職員は年1回の健康診断を行うとともに給食、乳児担当の保育士は毎月検便を実施している。

また、感染症対策等健康管理に細心の注意を払っている。平成30年度は12月中旬以降、インフルエンザが40名以上発症し、嘱託医と相談し、土曜日の園行事を中止した。嘱託医と機会ある毎に流行している感染症等の情報交換を行い、感染症の予防に役立っている。

5.地域交流について

植木校区文化祭に園児の作品を展示、また、園児がステージ上で演技を行った。校区委員会に参加し、園の運営等について説明をしている。

植木小学校からは4年生が学校案内を保育園で行っている。また、小学校2年生が各グループに分かれ、地域の職場を訪問しての調査に協力している。

植木中学校からは14才チャレンジウィーク（職場体験）として生徒が3日間訪問している。

子育て支援センターが植木地区へ移動して、2才児クラス等が散歩として近くに立ち寄った時は、センター利用者や指導者と一緒に遊ぶ機会を得ることができた。